

定例会 概要

令和2年度全会計の決算を認定！

市議会9月定例会は、9月1日から10月4日までの34日間の会期で開かれ、市長提出議案23件、議員提出議案1件を審議

9月1日 本会議第一日

- ・ 人事議案3件を上程し、全員賛成で同意（市長提出）
- ・ 決算12件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件）、補正予算2件（一般会計1件、企業会計1件）、条例改正3件、一般案件1件を上程（市長提出）
- ・ 一般案件1件を追加上程、委員会の審査を経て、可決（市長提出）

9月15日 本会議第二日

- ・ 一般質問6議員（P6～11参照）
- ・ 議案質疑4議員

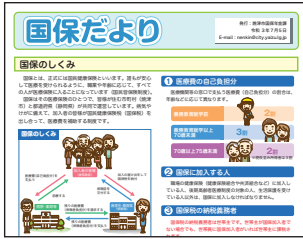
9月22日・24日・27日～29日 各委員会の議案審査

- ・ 総務文教常任委員会、市民福祉常任委員会、建設経済常任委員会、予算決算審査特別委員会が付託された議案を審査（P14～18参照）

10月4日 本会議第三日

- ・ 9月1日に上程された18議案を、委員会の審査結果報告及び討論後、全て認定及び可決（P4・5参照）
- ・ 補正予算1件（一般会計）が追加上程され、委員会の審査を経て、可決（市長提出）（P4参照）
- ・ 意見書1件を採択し国へ送付（議員提出）（P13参照）

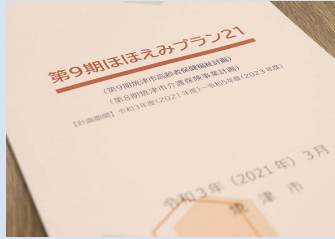
主な議案の審議結果



令和2年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 130億3,085万1,273円
歳出 127億6,188万9,964円

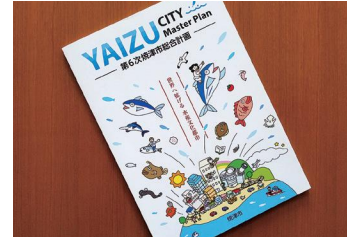
【賛成多数認定】



令和2年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入 122億5,804万4,896円
歳出 119億6,827万6,210円

【全会一致認定】



令和2年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入 757億8,788万6,407円
歳出 716億4,461万8,137円

【賛成多数認定】



令和3年度焼津市一般会計補正予算（第7号）案

5,479万円増額
中心市街地活性化事業費、感染症拡大防止資機材整備事業費 など

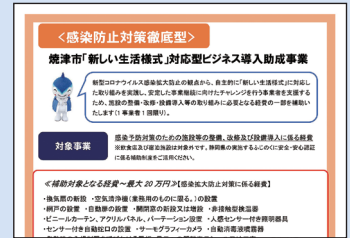
【全会一致原案可決】



令和2年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案について

事業収益 20億9,343万6,132円
事業費用 19億1,887万9,336円
当年度純利益 1億7,455万6,796円

【賛成多数認定及び原案可決】



令和3年度焼津市一般会計補正予算（第8号）案

1億1,795万円増額
新型コロナウイルス緊急対策事業者支援事業費、ICT教育推進事業費 など

【全会一致原案可決】



焼津市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

消防団員の定員を528人から648人に増員するもの

【全会一致原案可決】



令和2年度焼津市病院事業会計決算認定について

事業収益 132億4,576万9,996円
事業費用 144億6,678万4,821円
当年度純損失 12億2,101万4,825円

【全会一致認定】



令和2年度焼津市公共下水道事業会計決算認定について

事業収益 18億3,060万5,705円
事業費用 18億5,646万3,102円
当年度純損失 2,585万7,397円

【全会一致認定】

議案23件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 池谷和正議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。)

議案名		議決結果	議決結果	石原	安竹	内田	増井	河合	藁科	須崎	石田	松島	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	渋谷	杉崎	青島	鈴木	太田	深田	
市長提出議案	認第10号	令和2年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	17:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	
	認第13号	令和2年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認第19号	令和2年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案について	認定及び原案可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

■「認第10号 令和2年度焼津市一般会計歳入歳出決算認定について」に対する討論の主な内容を掲載します。

賛成討論 須崎 章 議員

歳入においては、本市の歳入の根幹である市税は前年度比1.3%減となったが、全国からご寄付をいただいたふるさと納税は、52億1千8百万円と前年度から26億6千万円増収となり、産業振興に大きく寄与している。

歳出においては、福祉・保健、都市基盤整備、教育文化、産業振興、観光振興、環境の各分野において事業が着実に推進されている。

また、財政の健全化に関する比率においても、全ての指標が適正とされる範囲にあり、健全な財政運営に努めたものと認められ、評価できるものであり、本案に賛成する。

反対討論 杉田 源太郎 議員

環境整備費約3千2百万円の収入は舟券売場、ギャンブル場売上の1%分である。ギャンブル収入をあてにする焼津市ではないのであれば、依存性の事態調査を行い、市も入った協議会報告、環境整備費の用途を明らかにすべきである。

次に、総合計画推進事業費中、都市整備課分約251万円の支出は、農用地区を商業施設・企業誘致を前提にしたSIC周辺のまちづくりを進めるための専門業者への委託費用である。後継者、自給率、地球温暖化防止、農業の大切さ、災害対応、周辺地域との関係等について住民間で話し合う支援こそ、市の仕事である。